

エピソード

一学期から、段ボールやティッシュの箱、紙コップ、巻き芯などを高く積むことを楽しんでいました。9月に入り、段ボールを高く積んだり、倒したりして楽しんでいます。

この日も最初は段ボールを一箱ずつ上に高く積んで倒すことを繰り返していましたが、Aくんが「こっちにも積もう」と二列になるように段ボールを積み始めました。一緒に遊んでいたBちゃんやCちゃんも「押さえとくから積んで」と言って3人で積み始めました。段ボールをすべて積み上げると、Aくんが「倒していいで」と声をかけると、BちゃんとCちゃんが「じゃあ私が先に投げるな」「いいよ」と、新聞紙のボールで段ボールを倒し始めました。「当たったけど倒れへんかった!」「やったー!倒れた!」と言いながら倒れていき、いくつか倒れると、数人でまた積みなおしてました。Bちゃんが倒そうとすると、Aくんが「待って!ここから投げて」と、先程まで投げていた位置から1m程後ろを指差しました。BちゃんとCちゃんは「わかった」と、その位置から新聞紙ボールを投げると、さっきよりも段ボールに当たりにくくなりました。「当たらんかった!もっと下やった」と、どこに投げると良いか考えたり、「もっと強く投げた方がいい」と、投げる強さを変えたりして何度も投げていました。段ボールを倒そうとしているBちゃんCちゃんも、倒れるかどうか見ているAくんも「おいしい!」「当たった!」「もう一回!」と、倒れそうで倒れない、もう少しで倒れる、ということを楽しんでいました。

子どもの育ちや学び

一緒に積もう!
(協力)



こっちにも(二列に)積んだら
倒れにくそう
(予想)(試す)

当たったけど倒れない
(力の調節)



やったー!倒れた!
(喜び)

さっきよりも難しい
倒したい
(挑戦)(意欲)



ここから投げて!
難しい方が面白い!
(挑戦)

- ・段ボールを一箱ずつ高く積むよりも土台を二箱にして積む方が倒れにくいと考えて積む。(予想)(試す)
- ・支えたり声を掛け合ったりして友達と一緒に段ボールを高く積む。(協力)
- ・倒れそうで倒れないことに面白さを感じ、倒れるまで何度もやってみる。(挑戦)(諦めない)
- ・投げる位置を遠くすることで難易度が上がり、より面白くなると考える。(予想)(期待)
- ・どこをねらってボールを投げるか、どれくらいの力で投げるかを考えて試す。(力の調節)(体を使いこなす)
- ・「段ボールを倒したい」という思いに共感し、一喜一憂したり歓声を上げたりする。(一体感)

保育者の思い

・子ども達は椅子などを台にして、段ボールを高く積むことを楽しんでいましたが、高く積むにも限界があるな、と感じていました。高く積む以外の楽しさや新たな遊びの展開が生まれたりいいなと思ひ、段ボールの数を増やしてどうするのか、と見守っていました。

・Aくんが二列に積む積み方を思いつき、試してみたことで、簡単に倒れなくなり、「倒れる面白さ」だけでなく「倒れそうで倒れない面白さ」を感じ、繰り返し挑戦してみようとする姿につながったのではないかと、思いました。

・簡単に倒れていた段ボールがなかなか倒れなくなったことで、ボールを投げる強さやコントロール、投げる距離や段ボールの積み方など、どこに注目したり、より面白と感じたりするのか楽しみになりました。

家庭だったら

遊びの中で「できそうでできない」「ちょっと難しそう」ということに面白さを感じる姿が増えてきました。家庭でも、一緒に何かに挑戦したり競い合ったりして楽しめることがあるかもしれませんね。